

(基本構想)

ささえあい かんじるぬくもり わがまちさかわ

第1次佐川町地域福祉計画・第1次佐川町地域福祉活動計画



佐川町・佐川町社会福祉協議会
平成20年7月1日

目 次

第 1 章	計画の策定にあたって	
1	計画策定の趣旨	2
2	計画の位置づけ	2
3	計画期間	3
4	計画策定の体制	3
5	計画策定の経過	4
第 2 章	佐川町地域福祉計画・佐川町地域福祉活動計画	
1	基本構想	7
2	重点目標	7
3	計画体系図	8
4	重点目標・活動目標・実施目標・実施計画	
	生涯笑顔で暮らせるまち・めざせ生涯現役	9
	〃 ・めざせ心のバリアフリー	10
	〃 ・気軽にどこでも行けるバリアフリー	11
	〃 ・子どもの元気がみんなの元気	12
	みんなでつくる自然豊かな安心安全のまち・美しい自然いっぱい	13
	〃 ・災害に強いまち	14
	〃 ・安心して暮らせるまち	15
	みんなが主役地域おこしで元気なまち・あなたが好きこのまちが好き	16
	〃 ・みんなで作ろう佐川ブランド	17
第 3 章	計画推進体制	
1	推進体制について	18
2	みんなで福祉のまちづくり委員会	19
3	地区部会・専門部会	19
4	町民としての心得	19
第 4 章	資料編	
1	地域の活動実践例	20
2	策定委員会・作業部会・アドバイザー・事務局名簿	32

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

長らく続いた不景気感や近年の格差社会の煽りを受け、私たちの佐川町の稼働年齢層の多くは高知市内など町外に勤務し、また職を求めて県外へ転出することも少なくありません。

また一人ひとりの生活様式や価値観の多様化も進み、社会環境は年々複雑になっているといえます。

そのため、少子高齢化や中山間部の過疎化が確実に進行するとともに、独居高齢者や高齢者世帯も増加が進み、一方では、人口が比較的残る街部でも、地域社会よりも個の生活が重視される意識の強まりもあり、人間関係の希薄化とともに地域共同体そのものの弱体化も確実に進んでいます。

それらを背景に、元来地域内や住民間で何気なく行われてきた相互の生活支援や、支え合いも脆弱になり、近年多発している振り込め詐欺、悪徳商法など犯罪まがいや風水害や震災などの被害はもとより、疾病や障がいなどにより通常的生活サイクルから少し踏み外すことで、たちまち私たちが望む「自分らしく安心して充実した生活を送る」ことに危険信号が点灯するのではないのでしょうか。

こういった生活課題や地域のあり方は、広い分野をまたぐ課題である場合も多く、相互に関連を帯びたり、複雑多岐であったりするため、単一の機関や、少数の有志の取り組みだけでは、容易に解決に繋がるとは断言できません。

佐川町地域福祉計画及び佐川町地域福祉活動計画は、一人ひとりの生活課題を地域の課題と捉え、課題の発見・解決策の検討・解決策の実行というプロセスにおいて、行政をはじめ関係機関、地域組織、ボランティア団体などの相互の共通認識にもとづいた公私団体を問わない「協働」が必要であることを確認しつつ、課題解決に向けた取り組みを実行するための「道しるべ」としてまとめたものです。

誰もが社会の一員として尊重される、佐川町ならではの福祉のまちづくりをすすめるために、また住民による住民のための幸せづくりが一層発展することを願い、この計画を策定します。

2 計画の位置づけ

この計画は、行政計画である地域福祉計画と社会福祉協議会が住民と策定する地域福祉活動計画を一体的に策定しております。

住民福祉のための個別具体的な行政施策については、高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画、障害者計画や障害福祉計画、次世代育成支援行動計画や母子保健計画など個別の福祉関連の行政計画で計画されているものを前提にしており、ここでは、主として「住民主体の活動」に焦点をあて、行政等の関係機関とのパートナーシップのもとに住民が地域で行う取り組みの方向性や基本的な考え方を示し、今後の地域福祉を推進するための基本的な役割を担うものです。

(市町村地域福祉計画)

第 107 条 市町村は、地方自治法第 2 条第 4 項の基本構想に即し、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、住民、社会福祉を目的とする事業を営業者その他社会福祉に関する活動を行う者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるとともに、その内容を公表するものとする。

1. 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
2. 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
3. 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項

(市町村社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会)

第 109 条 市町村社会福祉協議会は、一又は同一都道府県内の 2 以上の市町村の区域内において次に掲げる事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であつて、その区域内における社会福祉を目的とする事業を営業者及び社会福祉に関する活動を行う者が参加し、(中略) 市及び町村にあってはその区域内における社会福祉事業又は更生保護事業を営業者の過半数が参加するものとする。

1. 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
2. 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
3. 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
4. 前 3 号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

3 計画期間

この計画は、平成 20 年度から平成 24 年度までの 5 力年とします。地域のニーズや社会情勢の変化に対応するため、毎年度ごとに計画の進捗状況の確認を行い、必要に応じて計画の見直しを図ります。

4 計画策定の体制

計画策定に取り組むため、策定委員会、作業部会を組織し、アドバイザーを迎え、健康福祉課と社会福祉協議会とで事務局体制を組みました。それらを総称して、みんなで福祉のまちづくり委員会と称します。(各名簿は第 4 章資料編に添付してあります。)

策定委員会・各地区の部落長会の会長や、地域活動を行う団体の代表者、ボランティア団体代表者など、計画策定にあたっての軌道修正や、承認を行います。また策定後の計画推進のために重要なメンバーとして構成しております。

作業部会・地域での福祉活動に従事している方、地域の行事やイベントに深いかわりのある方など、実際に地域の中で活動し、現実的な部分でのアイデアや意見を計画策定に発揮していただける方で構成しております。

アドバイザー・高知女子大学社会福祉学部の田中教授をはじめ、元気応援団、中央西福祉保健所地域支援室、高知県社会福祉協議会民生・地域課などにアドバイザーとしてお越しいただきました。

事務局体制・地域福祉計画及び地域福祉活動計画の同時策定のため、佐川町健康福祉課及び社会福祉協議会において合同事務局を設置しました。

5 計画策定の経過

～地域課題の把握～ 平成 17 年度

住民が主体的に参画できるようじっくりと対話を重視した形で取組むため、3 年を想定し、平成 17～18 年度を準備期間の年としました。

平成 17 年度は、高知県社協の「平成 17 年度市町村社会福祉協議会活動サポート事業」の補助金を受け事業実施しました。

○講演

- 10 月 8 日 みんなで福祉のまちづくりフォーラム 61 名
講師 野村 清司 氏 「みんなでつくろう私たちのまち」
講師 鈴木 香 氏 「地域福祉活動計画について」
- 2 月 12 日 第 7 回佐川町健康福祉大会記念講演 200 名
講師 間 章 氏 「佐川で福祉のまちづくり」



野村清司氏講演の様子

○第 1 回みんなで福祉のまちづくり座談会

地区の①宝、自慢②不安、課題、困りごと③課題等への解決アイデアの出し合いをワークショップ手法にて実施。5 地区合計で 214 名の参加を頂きました。参加者の意見の全てを冊子にして、町内全戸に保存版として配布しました。

- 10 月 18 日 斗賀野地区 53 名
- 10 月 25 日 尾川地区 30 名
- 10 月 27 日 黒岩地区 41 名
- 11 月 2 日 加茂地区 19 名
- 11 月 4 日 佐川地区 71 名



黒岩地区座談会の様子

○第 2 回みんなで福祉のまちづくり座談会

第 1 回座談会の課題（解決アイデア含む）のうち今後検討して行くべき課題の絞込みと、解決アイデアの再検討をワークショップ手法にて実施。5 地区合計で 103 名の参加を頂きました。

- 3 月 16 日 斗賀野地区 21 名
- 3 月 20 日 尾川地区 18 名
- 3 月 23 日 黒岩地区 22 名
- 3 月 28 日 加茂地区 7 名
- 3 月 30 日 佐川地区 35 名



斗賀野地区座談会の様子

平成 18 年度
～地域諸団体との交流～

平成 18 年度は地域活動を行う諸団体との交流に重点を置きました。とかの元気村や尾川地区活性化協議会では会合等に参加、防災訓練の実施、黒岩では座談会、加茂ではイベントへの参加などを通して、各地域での団体の活動手法など確認させていただきました。

平成 19 年度以降
～ 計画策定へ向けて ～

○みんなで福祉のまちづくり委員会

第 1 回 平成 19 年 7 月 30 日

今までの経過報告と策定に向けて

講演「地域福祉活動計画について」

講師 高知女子大学社会福祉学部 教授 田中きよむ氏
役員選任（策定委員長、副委員長、部会長、副部会長）

今後の取り組みについて協議



第 2 回 平成 20 年 5 月 12 日

策定委員会と作業部会との合同会

計画についての意見交換

計画の承認

みんなで福祉のまちづくり委員会発足式



○策定委員会

第 1 回 平成 19 年 12 月 7 日

作業部会経過報告について検討

第 2 回 平成 19 年 3 月 14 日

作業部会の計画原案について検討

第 3 回 平成 20 年 5 月 12 日

作業部会との合同会・最終決定



○作業部会

第1回 平成19年 8月27日

平成17年度実施座談会資料に基づいて、課題の洗い出し
グルーピング。

第2回 平成19年 9月19日

課題の整理、実施目標の設定、現在の活動の整理、今後の
活動（解決策）の抽出。

第3回 平成19年10月24日

第2回の作業継続。

第4回 平成19年12月17日

策定委員会の意見の反映作業

第5回 平成20年 1月22日

重点目標の文章化、重点目標の統合、基本構想の案出し。

第6回 平成20年 2月22日

基本構想の選定、推進体制の検討

第7回 平成20年 4月 2日

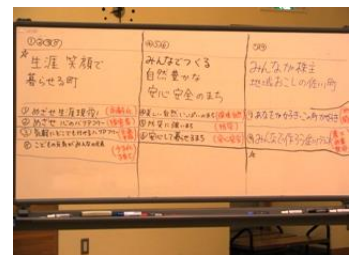
策定委員会の意見に基づき計画案の修正

第8回 平成20年 4月15日

策定委員会の意見に基づき計画案の修正

第9回 平成20年 5月12日

策定委員会との合同会



第2章 佐川町地域福祉計画・佐川町地域福祉活動計画

1 基本構想

ささえあい かんじるぬくもり わがまちさかわ

2 重点目標

○生涯笑顔で暮らせるまち

○みんなでつくる自然豊かな安心安全のまち

○みんなが主役 地域おこしで元気なまち

3 計画体系図



4 活動目標・実施目標・具体的実施計画

重点目標 生涯笑顔で暮らせるまち
活動目標 めざせ生涯現役
実施目標 独居・日中独居高齢者の支え合い対策
引きこもりの減少
介護予防健康づくり
食事の確保
元気高齢者の活動の場づくり

実施計画

学校などを利用した宅老所をつくろう
見守りの機会を増やそう（郵便・宅配・新聞配達）
家族のきずなを大切にしよう
子どもとふれあう機会を持とう
地域マップをつくろう
お互いに声をかけあおう
子ども大人高齢者全ての人々を対象としたあいさつ運動を拡げよう
声をかけて集まりへ参加しよう
健康づくり教室へ参加しよう
認知症対策講座へ参加しよう
料理教室を開こう
おかずの出前販売や移動商店の依頼を検討しよう
男性だけの趣味のグループをつくろう
老人クラブのネーミングを変えよう
観光ボランティアを活性化しみんなで参加しよう
若いときから高齢まで出来る趣味を普及しよう（例：ゴルフ、カラオケ）

続けよう・拡げよう

民生児童委員配食を続けよう
民生委員見守り登録制度を拡げよう
高齢者同士の声かけをしよう
近所づきあいを増そう
声をかけて集まりに参加しよう（保育園行事など）
町内の散歩道を充実しよう
いきいき百歳体操を拡大しよう
若い時からスポーツサークルを盛んにしよう
お弁当配達を拡げよう
地域イベント（まつりなど）を開催しよう
シルバー人材センターの活動を拡げよう



重点目標 生涯笑顔で暮らせるまち
活動目標 めざせ心のバリアフリー
実施目標 障がいのある人や家族を支援する地域・資源づくり
偏見を持たない地域づくり（環境）
障がいのある人の就労の場所の確保

実施計画

声をかけて集まりへ参加しよう
障がいのある人のマップづくりに取り組もう
見守り登録制度¹を広げよう
障がいのある人や家族を支援しよう
偏見を持たない地域をつくろう
障がい者ボランティア養成講座を開こう
地域や家族が積極的な姿勢を持とう
小さいときからふれあえる地域にしよう
地域で障がいについての正しい理解をすすめよう（劇・疑似体験等）
施設を応援する地域をつくろう

続けよう・広げよう

民生委員・地域による見守りを続けよう
声かけを多くしよう
身体障害者協議会・手をつなぐ親の会の活動を広げよう
就労の場所を増やそう（作業所・民間企業等）



中学校での福祉教育



小学校での福祉教育

¹ 見守り登録制度・・・民生児童委員協議会が「緊急時連絡先等情報登録制度」として、独居高齢者及び高齢者世帯を対象に行う制度。登録者の了解する範囲で、家族や近隣の方、利用している病院や介護事業所等の情報を記入し、民生児童委員協議会から警察、役場、消防署、消防団等の関係機関に情報を提供し、緊急時の安全確保・確認のために利用してもらうというもの。

重点目標 生涯笑顔で暮らせるまち
活動目標 気軽にどこでも行けるバリアフリー
実施目標 病院へ行ける便の確保
買物に行く便の確保
移動困難な人の交通手段確保

実施計画

NPO²福祉有償運送³の運行を検討しよう
退職者に活躍してもらおう
バスの運営にスポンサーを募ろう
声かけあって買物ツアーに行こう
買い物客を迎えにいくバスを出してもらおう
ボランティアの介助も検討しよう
介護タクシーの運行をタクシー会社に働きかけよう



続けよう・広げよう

障がいのある人へのタクシーチケットを続けてもらおう
移動販売を続けてもらおう

² NPO・・・(non-profit- organization) 非営利組織。政府や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体。）

³ 福祉有償運送・・・NPO（非営利組織）等が、高齢者や障がいのある方など、公共交通機関を使用して移動することが困難な人を対象に、通院、通所、レジャー等を目的に行う有償で行う送迎サービス。福祉有償運送の登録の申請を行うには、一定の要件。

重点目標 生涯笑顔で暮らせるまち
活動目標 子どもの元気がみんなの元気
実施目標 結婚の機会づくり
子育てしやすい環境づくり
教育の拡充

実施計画

独身者の出会いの場を増やそう
サークル活動で出会いの場をひろげよう
青年団活動を復活させよう
母親が安心して働ける場所を確保していこう
3世代家族を増やそう
男性の子育てを推進しよう
男性の育児休業をとりやすい環境にしよう
地域の活動を広報していこう
子育てしやすい保育料にしよう
次世代を育成して元気な町にしよう
生きる力を育てよう
総合学習⁴授業を活用しよう
あいさつ運動推進に取り組もう

続けよう・広げよう

あかるい元気まちづくり会⁵
世話焼きおばさん
児童手当の継続
乳幼児医療の継続
町営住宅の整備
子育て支援事業
佐川子育てサポートたんぽぽの会⁶
地域子育て支援拠点事業
地域支援ネットワーク⁷
児童家庭支援センター
子育てサークル（自主活動）
助産所での相談
現在の小中学校の存続
放課後児童クラブ
放課後児童教室
町の歴史や文化の伝承
図書館事業の拡充
食育への取り組み
声かけ運動（地域の見守り）
さかわ読みっ子応援団の出前事業



⁴ 総合学習・・・学校教育におけるカリキュラムの一形態。教科の枠組みを超えて総合的に学習を進めること。

⁵ あかるい元気まちづくり会・・・イベントや紹介などで独身の男女に出会いのきっかけを提供して、結婚の機会を作るためのボランティア団体。

⁶ 佐川子育てサポートたんぽぽの会・・・（巻末資料参照）

⁷ 地域支援ネットワーク・・・児童福祉法に基づき佐川町が設置する「要保護児童対策地域協議会」の佐川町の名称。（巻末資料参照）

重点目標 みんなでつくる自然豊かな安心安全のまち
活動目標 美しい自然いっぱいのまち
実施目標 川をきれいにする
花いっぱい運動
ゴミのない佐川町をめざそう！

実施計画

河川のヨシ刈りを多くの人に呼びかけよう
水質を調べて汚染状態を知ろう
ホタルの住める川づくりをしよう
清流づくりの学習会をしよう
いろんな川の生物を調べてみよう
ビオトープ⁸作りを広げよう
四季おりおりの花造りを広げよう
佐川町の花マップをつくろう
佐川の町木、ワカキノサクラを増やそう
ゴミをつくらない工夫をしよう
タバコのポイ捨ては絶対にやめよう
クリーンキャンペーンにみんなで参加しよう

続けよう・広げよう

河川の草刈
合併浄化槽の普及
中学校による水質調査
住民参加による河川環境整備事業
環境美化の標語づくり
地域ごとの花づくり
ゴミの持ち帰り運動
生ゴミの堆肥化
町内一斉清掃
ゴミだしの決まりを守る
アルミ缶の回収リサイクル
小中学校でクリーンキャンペーン



⁸ ビオトープ・・・ ビオトープとは、生き物の生息空間のことで、様々な生物が生息できるよう人工的に再生された自然生態系の空間である。例えば、小中学校の構内に教師と生徒たちによって作られたり、また市民のための公園の一角に作られたりもしている。

重点目標 みんなでつくる自然豊かな安心安全のまち
 活動目標 災害に強いまち
 実施目標 地域ごとに防災に取り組もう
 南海地震に備える



実施計画

自主防災組織をつくろう
 自主防災組織連絡協議会を結成しよう
 防災マップをつくろう
 防災用具（用品）を備えよう
 緊急時の連絡網を作ろう
 要援護者⁹を把握しみんなで助け合おう
 防災リーダーを育成しよう
 消防団の活動を学校の授業で教えよう
 地区の身近な避難場所を確認しておこう
 防災訓練や勉強会を行おう
 家の安全点検をしよう
 家具の転倒防止の対策をしよう



続けよう・広げよう

婦人防火クラブを増やす
 自主防災組織を増やす
 小学校区の危険箇所・水害安全マップづくり
 住民自らの災害への備え
 民生委員の独居高齢者緊急連絡先登録制度
 建設労働組合による独居高齢者宅の修繕
 地域の中で家の中の点検をする（地域安全診断）
 地震のことを知る学習
 家具の固定、住宅の修繕



⁹ 要援護者・・・要援護者とは、防災行政上、災害時要援護者と言う。災害時、次の条件に一つでも当てはまる人を指す（平成3年度版防災白書）。

- ①自分の身に危険が差し迫った時、それを察知する能力がない、または困難な者。
- ②自分の身に危険が差し迫った時、それを察知しても適切な行動をとることができない、または困難な者。
- ③危険を知らせる情報を受け取ることができない、または困難な者。
- ④危険をしらせる情報を受け取ることができても、それに対して適切な行動をとることができない、または困難な者。

これを基に具体例を上げると次のような人が当てはまると考えられる。

・障がいのある人、傷病者、高齢者、健康でも理解力・判断力が乏しい乳幼児・子ども、日本語が分からない外国人、妊婦、その場所の地理に疎い旅行者。

重点目標 みんなでつくる自然豊かな安心安全のまち
活動目標 安心して暮らせるまち
実施目標 交通事故をなくそう
防犯意識をたかめよう
子どもの安全を守ろう

実施計画

地域イベントなどを利用した啓発活動しよう
交通安全手づくり標語をつくろう
反射板、蛍光板を身に付けて歩こう
外出時は戸締りを徹底しよう
悪徳商法に関する情報をみんなで知ろう
地域ぐるみで悪徳商法を撃退しよう
街灯を増やして防犯に役立てよう
登下校に合わせて地域で見守ろう
通学路の安全マップをつくろう
子どもと高齢者を交通事故から守ろう
自転車の安全運転をすすめよう
飲酒運転防止は家庭から

続けよう・広げよう

通学（朝）時交通安全指導
集いの場での地域安全教室
悪徳商法に引っかからない声かけ
新聞配達員の見守り活動
子どもの下校時の見守り
子どもの家１１０番
ＰＴＡこどもパトロールたすきステッカー
知らない人についていけない
民生児童委員あいさつ運動
日暮れ前の子に帰宅を促す
交通安全教室を開催しよう



重点目標 みんなが主役 地域おこしで元気なまち
 活動目標 あなたが好き このまちが好き
 実施目標 地域おこしの推進
 ふれあい交流の町づくり
 住民の地域参加
 観光振興
 スポーツ・文化振興

実施計画

水の国際会議を活かしていこう
 地域のリーダーを育成しよう
 地域の祭りに学校も参加しよう
 異世代間交流の推進
 世代間交流を推進しよう
 地域行事への参加をしよう
 若者パワーを活用しよう
 地域の中で役割をもとう
 佐川の桜を守り育てよう
 観光ボランティアの育成をしよう
 うもれた観光資源の掘り起こしをしよう
 佐川独自の地層・地質をアピールしよう
 総合型スポーツクラブを充実させよう
 地域文化を発掘、文化イベントを開催しよう
 重要文化財を守ろう



続けよう・広げよう

とかの元気村
 夢の里つくり隊
 尾川地区活性化協議会
 平野ふれあい元気村
 たらふく秋まつり
 ふれあいサロン
 寺野の夏祭り
 佐川踊りの復活
 斗賀野文化の会
 佐川くろがねの会
 地区民運動会
 神祭（太刀踊り、花取り踊り、ぼんおどり）
 健康福祉大会
 シルバー人材センター
 ナウマンカルストでの野外ライブ
 桜の名所
 奥の土居周辺の整備
 体育会のスポーツ
 佐川地質館
 文化推進協議会
 芸能祭



重点目標 みんなが主役 地域おこしで元気なまち
活動目標 みんなで作ろう佐川ブランド
実施目標 商店街の活性化
農業の活性化（専業・兼業）
地産地消の推進
高品質・付加価値のあるものづくり
働く場の確保

実施計画

商店街のホームページを作成しよう
町並み等のライトアップをしよう
商店街のイベントを増やし話題を作ろう
花・人・土佐であい博を活かしていこう
恵美須祭・文殊祭を盛り上げていこう
特産品の開発・掘り起こし
第3セクターショップを作ろう
「作る」と「加工」の連携を強化しよう
加工商品を独自に開発しよう
パート・退職者の就労
若者の就労対策

続けよう・広げよう

企画本舗さかわ屋による商店街の活性化
シャッターペイントの活用
空き店舗対策
地場産品の販売拡大（ニラ・米等）
食をテーマにした新商品
はちきんの店による地産地消の推進
中学生による職業体験
地域で働く若い世代の応援



第3章 計画推進体制

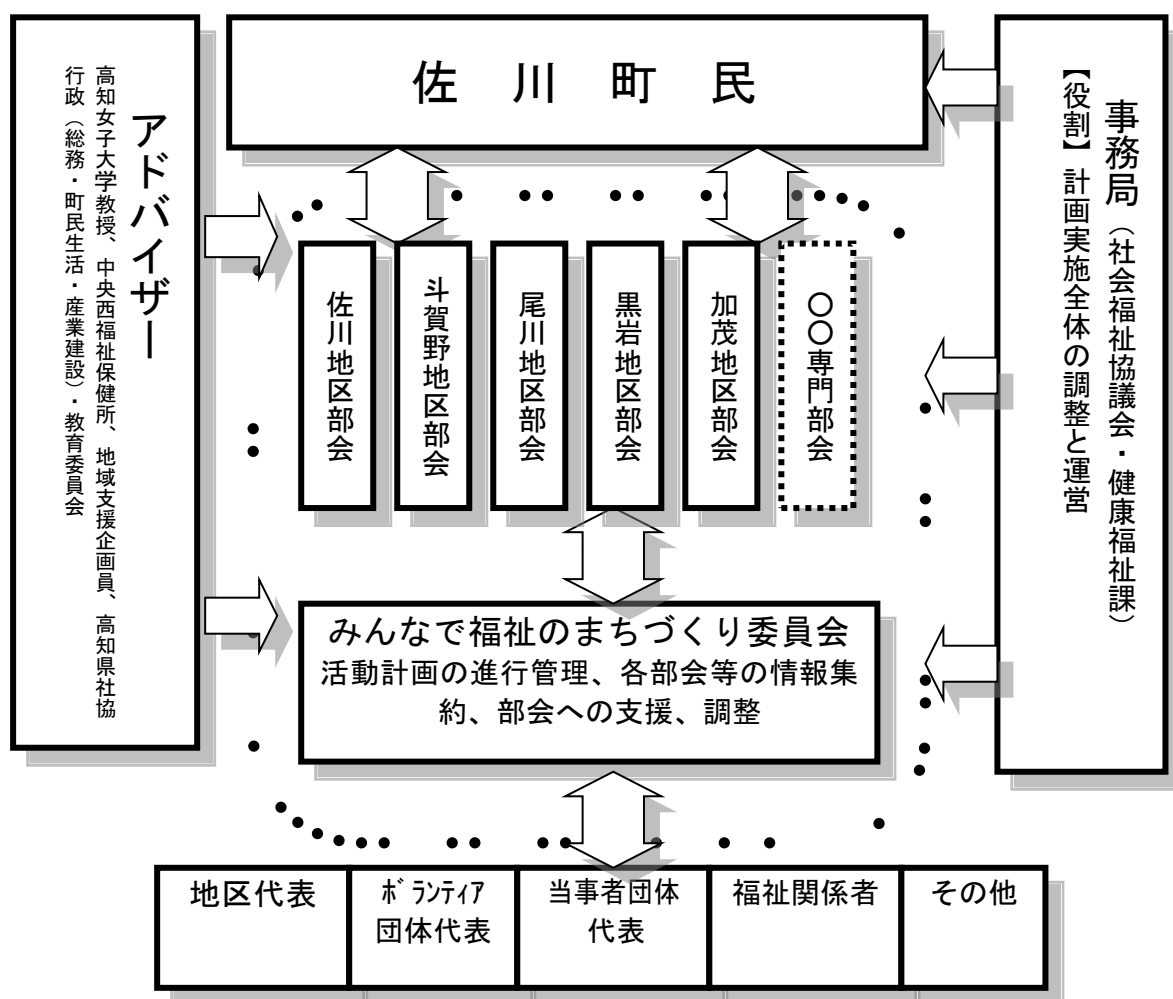
1 推進体制について

立派な計画策定に力を注ぎ、作り終わった後はそのまんま、というのが計画モノにはしばしばみられる姿です。様々な生活課題に基づいてそれへの対策などを検討してきましたので、夢や未来を語っただけで終わらせてしまうと、それらの課題が解決されないばかりか、近い将来更に重篤な状況になることも容易に想像できます。

この地域福祉計画・地域福祉活動計画では、私たち住民が佐川町全体で、旧町村単位で、または部落での取り組みとして取り組むべき活動、取り組んで欲しい内容を盛り込んでいます。地域の一人ひとり、様々な団体、関係機関がこの地域では何が必要か話し合い、地域の合意と関係機関の協力のもと、スクラムを組んで活動を進めていく必要があります。

その話し合いをする場が、下記のもみなで福祉のまちづくり委員会や地区部会及び専門部会です。これらの組織も計画の進捗や必要に応じて形を変えていくことも当然に必要と考えられます。

みんなで福祉のまちづくり推進体制



2 みんなで福祉のまちづくり委員会

この会では、佐川町全体の計画について話し合う場です。計画の進捗や評価、町全体の取り組みについての検討・実施、また旧町村単位や部落単位、専門部会の取り組み支援などが主な役割になります。

3 地区部会・専門部会

旧町村単位の地区を土台とした地区の活動について検討・実施する部会と、地区を越えた同一の分野で必要に応じて専門部会を設置し、課題について検討・実施を行う部会です。

地区の部会は、町全体と地区内の部落などとの調整や、地区イベント実施や、その地区内の部落への呼びかけや活動への関与が想定されます。

専門部会は、特定の課題について地区の中だけでは解決が難しいようなものやその他必要に応じて設置し、関係者等が集まって課題に取り組みます。

3 町民としての心得

地域のことは、「他の誰かがやってくれる」と他人事で終わらせていいのでしょうか。他の誰かもあなたに期待をしているかもしれません。たとえ直接関われなくても、出来る何か、応援できる何かがあるのではないのでしょうか。

みんなが、ほんの少し、協力することで、活動への理解を示すことで地域は変わります。

さ・・・参加しよう	地域のイベントや活動に積極的に参加しましょう
か・・・考えよう	何事も相手の立場で考えましょう
わ・・・「わ」をつくろう	友達や地域の「輪」で「和」をつくりましょう

第4章 資料編

1 地域の活動実践例

1 福祉団体・ボランティア団体

(1) 佐川町民生児童委員協議会	2 1
(2) 佐川町赤十字奉仕団	2 1
(3) 佐川町老人クラブ連合会（佐川町よさこいクラブ連合会）	2 2
(4) 佐川町身体障害者協議会	2 2
(5) 佐川町手をつなぐ親の会	2 3
(6) J A コスモスにこにこ会	2 3
(7) J A コスモス赤い ^{ふんどし} 隊	2 4
(8) 佐川町食生活改善推進協議会	2 4

2 見守り活動、生活支援活動

(1) 佐川町ふれあいサロン	2 5
(2) いきいき百歳体操グループ活動たちあげ支援	2 5
(3) 見守り声かけネットワーク	2 6
(4) 佐川子育てサポートたんぽぽの会	2 6

3 地域おこしの団体・イベント・取り組み

(1) とかの元気村	2 7
(2) 尾川地区活性化協議会	2 7
(3) 企画本舗さかわ屋	2 8
(4) 夢の里つくり隊	2 8
(5) 佐川くろがねの会	2 9

4 その他

(1) イーハトーブ佐川	2 9
(2) 自主防災組織	3 0
(3) 小中高校連携プルタブアルミ缶収集活動	3 0
(4) 佐川花の友	3 1

佐川町で行われている地域の活動の一部をご紹介します。皆様が地域で何かに取り組む際の参考になればと思います。

また、上記の他にも皆様の周りでたくさんの地域のためのイベント・取り組みが行われています。ぜひご理解いただき、ご協力やご参加をお願いいたします。

組 織 名：佐川町民生児童委員協議会（通称：民児協）会長 岡本 加代子

構 成 員：48名

（厚生労働大臣より委嘱された民生委員児童委員で構成。3年任期）

役員（会長1名、副会長2名、地区長6名、監事2名）

活動範囲：佐川町全域

活動概要：①住民の生活全般の相談役、②高齢者の見守り活動（訪問、毛布の洗濯、福祉委員や関係機関との連携による見守りなど）③赤ちゃん訪問・新入学児童訪問、④関係行政機関等への協力⑤相談支援者として必要な研修実施・参加などを通して、地域の皆様から相談されやすい関係づくりをとおして、安心して暮らせるまちづくりに貢献しています。

団体PR：民生委員児童委員は民生委員法と、児童福祉法に基づいた公的なボランティアです。住民の皆様のご相談に乗り、解決に協力し、また秘密を守る義務もあります。お困りごとがありましたら、何なりとご相談ください。またこちらから、地域の皆様にご協力をお願いすることもあります。その際にはよろしくお願いします。

事 務 局：佐川町社会福祉協議会内 電話 22-1510

組 織 名：佐川町赤十字奉仕団 委員長 西田 芳子

構 成 員：約240名

役員（委員長1名・副委員長5名・監事2名・会計1名・委員若干名・現在8名）任期2年

活動範囲：主として佐川町全域（中央西広域地域・高知県全域）

活動概要：献血の手伝い（年9回）、春日荘・高北病院の清掃（年10回）主に草引き、24時間テレビでのゴミの分別指導、車いすロードレースへの協力（コーヒ一杯分の募金）、健康福祉大会での災害時における炊き出しの実演・バザー、県が行う防災リーダー研修会や地域住民を守る災害救護救援研修会に積極的に参加、リーダーの育成にも力を入れています。日頃の労をねぎらい、団員同士の交流を深めるために一日研修も行っています。

団体PR：団員一同、明るく住みよいまちづくりのために、日々奉仕の精神に努めています。「私にも何か出来る事はないかしら？」と思っているあなた、一緒に活動しませんか。年齢は問いません、声をかけてください。

事 務 局：佐川町社会福祉協議会内 電話 22-1510

組 織 名：佐川町老人クラブ連合会（愛称：佐川町よさこいクラブ連合会）

構 成 員：1, 297名

役員（会長1名、副会長5名、部長3名（事業部、体育部、女性部）、監事2名）任期2年

活動範囲：主として佐川町全域（中央西広域地域・高知県全域）

活動概要：老人クラブの活性化を図ると共に、新会員の加入促進、高齢者健康づくり運動の推進、高齢者交通安全活動の推進、高齢者傷害保険加入促進活動、などを中心に生涯スポーツへの参加など、生き甲斐づくりなどを行っている。

団体PR：高齢者が地域において、お互い助け合い、励まし合い、共に交流と親睦を深め、健康と生き甲斐、日常生活の充実を図り、地域社会の中で活動を通じて社会奉仕を進めるなど、少子高齢化社会で存在意義を高める事に取り組んでいます。若い高齢者の方々の加入を強く望んでいます。若い力で老人クラブを支えてくださるようお願いします。

事 務 局：佐川町社会福祉協議会内 電話 22－1510

組 織 名：佐川町身体障害者協議会 会長 壬生 良輔

構 成 員：280名 佐川町に在住し、本会の趣旨に賛同する身体障害者福祉法第4条の手帳所持者及びその家族、又は同手帳を受けようとする者で構成。役員（会長1名、副会長2名、会計1名、前記役員を含む理事14名、監事2名、代議員35名）

活動範囲：佐川町全域（上部団体の中央西広域身連、県身連、日身連あり連携）

活動概要：①総会・福祉大会・地区別交流研修会開催、系統団体研修会等へ参加、社会の理解を高める活動・国の制度改善運動展開。②町・中央西運動会・県障害者スポーツ大会、週2日のペタンク・グラウンドゴルフ教室、同競技の町老連・近隣市町村との交流試合、ボウリング大会、年4回の料理・随時のパソコン教室、春秋のふれあい旅行で健康増進を中心に友愛を深め明朗闊達な人づくりや今日に至る佐川車いすロードレース創設。③町の福祉タクシー制度創設や環境調査を素にしたエレベータ・障害者トイレの設置など町内のバリアフリー化の推進④現在町営の福祉移送システムの導入運動を展開中。

団体PR：町内の身体障害者は当会に加入、町営の福祉移送システムの導入運動及び障害者自立支援法、後期高齢者医療の改善運動に参加を乞う。

事 務 局：佐川町社会福祉協議会内 電話 22－1510

組 織 名：佐川町手をつなぐ親の会 会長 藤田千砂

構 成 員：４０名

役員（会長１名、副会長２名、会計１名、監事２名、理事数名）

活動範囲：佐川町全域

活動概要：全日本手をつなぐ育成会全国大会、手をつなぐ育成会四国大会、高知県知的障害者育成会（高知県手をつなぐ育成会）、親子研修、施設研修、クリスマス会、新年会、月例会（木の会）

団体ＰＲ：佐川町における知的障害を持つ人の健常なしあわせを高めることを目的とし、目的に賛同する人で組織しています。

障害にはいろいろあり、一人ひとりの障害の状態はみんな違っています。そして、一人ひとり特別な支援を必要としています。

手をつなぐ親の会は、皆様に支えられて活動をしています。皆様のご支援をお願いいたします。

事 務 局：佐川町社会福祉協議会内 電話 ２２－１５１０

組 織 名：ＪＡコスモスにこにこ会斗賀野支部 支部長 西田 益子

：ＪＡコスモスにこにこ会佐川支部 支部長 出間 緑

構 成 員：１２４名

役員（支部長１名、副支部長２名、監事２名）

活動範囲：佐川町管内

活動概要：○高齢者の見守り活動（見守りネットワーク体制）

○ふれあいサロン（佐川町社協より受託のミニデイサービス）９ヶ所

○関係行政機関等への協力

○病院・施設への慰問等

○給食サービス

団体ＰＲ：「出来ることを出来るときに」をモットーに、全員が自らの介護予防も合わせて活動しています。

事 務 局：コスモス農業協同組合福祉生活部佐川支所 電話 ２２－７８０９

斗賀野支所 電話 ２２－１１４８

組 織 名：ＪＡコスモス赤い^{ふんどし}禪 隊 隊長 中村 卓司

構 成 員：５２名

ＪＡコスモスの赤い禪隊の目的に賛同する男性で構成

役員（隊長１名、副隊長２名、監事２名、役員２名）任期２年

活動範囲：ＪＡコスモス全域

活動概要：１．ＪＡ運動を理解し、その推進に関すること

２．男性の権利、地位、教養の向上に関すること

３．営農並びに生活面活動の向上に関すること

４．男性の健康改善に関すること

５．各種講演会、研究会の開催等、学習活動に関すること

６．女性部、にこにこ会等関係団体との連絡提携に関すること

７．その他目的達成に必要な事項

上記事業の推進にあたり、必要に応じて専門部会を設けることができる。

事 務 局：コスモス農業協同組合福祉生活部 電話２２－７８０９

組 織 名：佐川町食生活改善推進協議会（通称：さくら会） 会長 矢野 博子

構 成 員：５４名

役員（会長１名、副会長２名、会計１名、理事５名）

活動範囲：佐川町全域

活動概要：①子供達を対象に食育の普及啓発②高齢者等の低栄養予防を目的とした料理教室③食事バランスガイドの普及啓発④地産地消の推進

団体ＰＲ：食生活改善推進協議会は『私達の健康は私達の手で』をスローガンに掲げ、地域での食生活の改善推進を図ることで地域住民の健康を改善し、福祉の増進に寄与すること目的として活動している全国組織で、全国に約２０万人の推進員（ヘルスマイト）が活動しており、佐川町食生活改善推進協議会は昭和５９年３月に設立し、現在５４名の推進員が活動しています。（平成１７年には長年の活動の功績を認められ厚生労働大臣賞を受賞しました。）近年は食育の推進に重点を置いて活動しており、数年前から佐川町内の全ての学校、保育園へ年度当初に訪問し、協議会の活動をＰＲすることで、現在では多くの学校、保育園より食育講座や調理実習の依頼があります。また、「男性料理教室」や「高齢者の低栄養予防講座」など大人を対象にした食育講座、調理実習も積極的に行っています。

事 務 局：佐川町健康福祉課介護ほけん係内

佐川町食生活改善推進協議会事務局 電話 ２２－７７０９

事業名：佐川町ふれあいサロン（佐川町地域介護予防活動支援事業）

構成員：参加者 280 名

協力員 124 人（JA コスモスにこにこ会、社協登録ボランティア）

活動範囲：佐川町全域（現在 18ヶ所にて開催）

活動概要：毎月 1～2 回（10:00～15:00）、公民館や老人憩いの家等で開催。うた、健康体操、創作活動、おしゃべり、ゲーム、昼食、世代間交流、出前講座、サロン交流会、健康福祉大会への参加協力など、地域ごとに、参加者と協力員がアイデアを出し合いながら、こころもからだも健やかに楽しい一日を過ごしています。参加費は 1 回 500 円（昼食、おやつ代）です。

活動PR：平成 11 年度より、高齢者の介護予防、生きがいづくり、仲間づくり、地域ぐるみの憩いの場を目的に開催しており、サロンを拠点とした見守りと支えあいの輪が広がっています。誰もが気軽に参加できる身近な集いの場として、住民同士助け合いながら活動していますので、ぜひご支援よろしくお願いします。随時参加者と協力員を募集していますので、お申込は下記事務局までご連絡をお願いします。

事務局：佐川町社会福祉協議会 22-1510

事業名：いきいき百歳体操グループ活動たちあげ支援（佐川町地域介護予防活動支援事業）

構成員：参加者 375 人（うち 65 歳以上：348 人）

活動範囲：佐川町全域（現在 18ヶ所にて開催）

活動概要：地域ごとに自主グループを立ち上げ、公民館、学校、個人宅などで毎週 1 回以上「いきいき百歳体操」を実施しています。

活動PR：いきいき百歳体操は、高齢者の方に合わせて考えられた「おもり」と「バンド」を使ったゆっくりとした体操で、週 2 回程度行くと筋力とバランス効果を高める効果があり県内各地で実施されています。佐川町では平成 18 年度よりグループ活動支援が始まりました。参加者からは、「歩くのが楽になった」、「みんなに会えるし体操の日が楽しみ」とのうれしい声が寄せられており、介護予防、交流、見守りの場として地域に広がっています。週 1 回以上、いきいき百歳体操に取り組む 5 人以上の構成員によるグループに対して、活動費を助成していますので、（活動費助成の対象：65 歳以上）活動ご希望の方は、下記事務局までご連絡をお願いします。

事務局：佐川町健康福祉課 22-7709

佐川町社会福祉協議会 22-1510

事業名：見守り声かけネットワーク

構成員：民生委員児童委員・福祉委員・地域包括支援センター・社協

活動範囲：佐川町全域（町内7ブロックで開催）

活動概要：独居高齢者等の見守り体制について情報交換等を行っています。

活動PR：地域の独居高齢者の方などへ声かけなどを通して、見守り活動をしています。お声がけなどで日常的に接することで何気ない変化にも気づいて、一命を取りとめた事例などもあります。

体の安否だけでなく、心配ごとなどの相談にのったり、悪徳商法の防止などさまざまな面で「安心して暮らせるまち」へ貢献をしています。

一人でも多くの、何気ない声かけや見守りが大切です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

事務局：佐川町社会福祉協議会 22-1510

組織名：佐川子育てサポートたんぽぽの会

会長 鎌倉アツ子

構成員：18名

県教育委員会より委嘱された家庭教育サポーターと協力員で構成。

役員（会長1名、副会長1名、会計1名、監事1名）

活動範囲：佐川町内

活動概要：①子育て中の母親への支援、オヤツ作り等を通して親子と交流する中で子育てのアドバイスなどをする。母親達は、参加者との交流の中で日頃の育児のストレスも解消する。②子育て支援者の輪が広がるように、家庭教育サポーター、協力員も共に勉強会を開いて研修をする。県や他市町村の研修会に参加する。③行政機関等への協力。かわせみの子育て応援事業への協力。図書館事業への協力。

団体PR：平成20年度のたんぽぽの会のオヤツ作りは、かわせみの子育て応援事業と共催で行います。広報さかわに日程が載りますので、誘い合って申込をお願いします。たんぽぽの会で共に活動してくださる方、下記までお電話をよろしくお願いします。

連絡先：吉原 孝子 電話 22-3230

鎌倉 アツ子 電話 22-3202

組 織 名：特定非営利活動法人 とかの元気村 理事長 森 正彦

構 成 員：会員数 185 名

役員（理事長(村長)1 名、副理事長 2 名、理事 9 名、監事 3 名）任期 2 年

活動範囲：斗賀野地区を基盤とした佐川町全域

活動概要：斗賀野地区の活性化のための地域づくり活動

- ① 指定管理事業（町立図書館・あおぞら公園・わんぱく広場・バンガロー）による町施設の管理運営活動
- ② 河川環境整備事業（斗賀野地区の河川のヨシの伐採、浚渫・近自然工法による河床作り・魚の放流）による環境美化活動
- ③ 自然環境保護事業（ホタル・ノカンゾウ・ササユリなど）による希少動植物の保護・増殖活動
- ④ 地域イベント開催事業（たらふく秋まつり・健康ウォーク・とかのの写真展）の主催による地域交流活動

団体 P R：斗賀野地区の活性化のために地域住民が主体となって結成した NPO 法人です。地域が良くなることならどのジャンルでも活動しており、斗賀野の元気を集めて情報発信しています。町立図書館の運営では、組織内にさかわ読みっ子応援団を作り、読み聞かせ事業等を積極的に実施したことが評価され、20 年 4 月に文部科学大臣表彰を受けました。

事 務 局：とかの元気村役場 電話 090-2782-8164（森正彦）

組 織 名：尾川地区活性化協議会 会長 沢村 重隆

構 成 員：53 名

役員（会長 1 名、副会長 1 名、部長 4 名（農業振興部長、自然環境部長、地域防災部長、教育文化部長）、事務局長 1 名、監事 2 名）

活動範囲：尾川地区

活動概要：尾川地区全体の活性化や地域づくりを目的に活動。現在、町指定管理者制度により「ふれあいの里尾川」を管理運営。また組織を四部制にて農産物の生産振興、自然環境保護、自主防災組織育成、伝統技術継承及び子供の育成など目指した取り組みを行っている。他には地域の交流を目的に秋祭りなどを開催している。

団体 P R：町施設「ふれあいの里尾川」を拠点に尾川地区で様々な活動しています。現在公園内の除草作業に牛を放牧する実験事業や毎年秋に尾川秋祭りを開催しています。まだまだ目立った活動はできていませんが、尾川地区の皆さんと手を取り合いながら、地道な活動を目指しています。

事 務 局：ふれあいの里尾川 22-1994

組 織 名：企画本舗さかわ屋 会長 大原 淑道

構 成 員：JA コスモス職員、商工会役員・会員、産業建設課職員、地域元気応援団、
商工会事務局 計 23 名

活動範囲：主として佐川地区～佐川町全域

活動概要：毎月 1 回の定例会を行い、多様な観点から地域振興事業の検討を実施し、佐川町が元気になるための活動を展開しています。今まで、中本町シャッターペイント関連事業や花見事業の主催をはじめ、町内イベント（商工会青年部チャリティービアガーデン、えびす祭り、たらふく秋まつり、健康福祉大会）や県内イベント（土佐二十四万石博、花・人・土佐であい博）などへの参加協力をして、佐川が元気になる取り組みを進めています。

団体PR：衰退を辿る佐川町の商業への対策協議のための「佐川町の商業を考える会」から発展させ、商業にとらわれず住民と一緒に佐川町全体を考える会にしたいとの思いから平成 15 年 7 月に結成しました。佐川町の抱える様々な問題に対して突破口を見出すべく活動していますのでご協力をお願いします。

事 務 局：佐川町商工会 電話 22-0053

組 織 名：夢の里つくり隊 会長 岩本 正

構 成 員：34 名

会則「夢の里つくり隊規約」に基づく役員は以下のとおり。

会長 1 名、副会長 2 名、事務局 1 名、会計 1 名、監事 2 名、相談役若干名

活動範囲：本村地区を中心とする加茂地域

活動概要：（１）佐川町の「がんばれ・広げれ補助事業」の成果の保守管理及び整備

①日下川の川中や両岸の草刈り、花木の植樹（補植）・散歩道（芝生）の整備
②ベンチ・阿舎等の管理、補充、拡充

（２）各種交流イベント等の実施（３）任意団体、公的機関等との連携及び助成事業の導入 他

団体PR：「自由で大らか自由参加」をモットーに、会員制による自主組織団体。過年度の補助事業の維持補充、管理の拡充を行いつつ、自然との調和を図りながら、四季の移ろいを楽しみ会える地域の環境づくりをすすめる。また少子高齢化への世相をみすえ、水辺の散策による健康増進や、阿舎を拠点とする人との出会いや集い、交流の輪の広がりをはかりつつ、元気で明るい里づくりに供する。

事 務 局：夢の里つくり隊 電話 22-7001

組 織 名：佐川くろがねの会 代表 竹村 脩

構 成 員：会員５５名、賛助会員１名、役員（代表１名、副代表２名、会計１名、監事２名）

活動範囲：佐川町上町 奥の土居 西谷地区を中心として、佐川町全域に及ぶ。

活動概要：重要文化財竹村家住宅の保存、活用を図るとともに佐川町上町奥の土居、西谷地区を中心とした歴史的町並み・敬称や観光振興に資するために活動するもので、「佐川まちの駅」を拠点とした観光ガイドや佐川町の歴史文化を顕彰する事業等を行うことにより、地域の発展に寄与し、もって公益の増進を図ることを目的とする。

団体ＰＲ：①竹村家住宅を曜日を決めて一般公開する（毎月第２日曜日午前１０時より午後３時まで）②町づくりや佐川の歴史についての勉強会を定期的に実施している。③観光に取り組んでいる先進地の実地研修や町づくりの団体やボランティア団体と積極的に交流を図っている。④町の駅を「くろがねの会観光案内所」として、観光案内所の機能を持たせボランティアガイドによる観光案内や情報発信を行う。また佐川特産品等の物品販売。お茶、コーヒーの接待を行い観光客の休憩所としての場所を提供する。⑤各種イベントや奉仕活動を行う。

事 務 局：佐川町甲１２８５番地 佐川くろがねの会 電話２２－５２４０

組 織 名：特定非営利活動法人イーハトーブ佐川

（通称 NPO 法人イーハトーブ佐川） 代表 尾崎 藤吉郎

構 成 員：３０名

活動範囲：佐川町全域

活動概要：①環境保全・里山整備保全に関する事業②まちづくり・文化活動に関する事業③安全・防災に関する活動④環境保全に関する子どもへの教育⑤子どもの健全育成に関する事業⑥防災安全、環境整備活動に関する啓発広報活動

団体ＰＲ：主に佐川地域において、環境美化・里山保全、防災・安全活動、子どもの健全育成等に関する活動を行っています。

事 務 局：佐川町遊学館内 電話２２－１２０９ 代表電話 ２２－２５８６

組 織 名：自主防災組織

構 成 員：地域住民（概ね40世帯以上で1組織。複数部落で結成の場合あり）

活動範囲：自主防災組織が創られる地域

活動概要：活動内容は、大規模災害時即時に行政の救援を望めないことを想定した、災害時初動の消火や、住民の避難活動、安否確認及び人命救助等の防災・減災を目的とする組織です。

日常的には、住民同士で防災マップなどを利用して災害時要援護者や避難経路の確認、安否確認訓練、救命救急講習、炊出し訓練などを行っています。現在佐川町で22組織設立（平成20年3月末現在）

団体PR：万一の災害に備え、住民同士で要援護者や避難場所及び経路の確認など地域の再確認をしておくことは、安心・安全面で非常に重要なことです。また日常的にも独居高齢者や障害のある方などへの近隣の安否確認・支援や、地域の全員が関係する事柄ですので、地域内の新しい「つながり」も望めるのではないのでしょうか。この機会に町内全地区で自主防災を組織しましょう。

自主防災組織設立に向けて、町の補助金もあります。詳しくは下記事務局までご連絡ください。

事 務 局：佐川町役場総務課危機管理対策課室 22-7700

活 動 名：小中高連携プルタブアルミ缶収集活動

活 動 校：佐川高等学校、佐川中学校、尾川中学校、佐川小学校、尾川小学校、黒岩小学校、斗賀野小学校

活動範囲：佐川町全域

活動概要：空き缶のプルタブやアルミ缶などを収集し、業者さんを通して車いすに換えてもらい、福祉施設等に寄贈しています。

活動PR：ゴミとなるアルミ缶やプルタブなど一つひとつは小さいですが、たくさん集まることで、車いすに交換してもらうことが出来ます。一人ひとりのちょっとした小さな活動が町全体で集めると大きな活動になります。ぜひご理解とご協力をお願いします。

連 絡 先：各学校へお問い合わせください。

組 織 名：佐川花の友 責任者 松岡 直人

構 成 員：３４名（責任者「部落長」１名、世話人１名、メンバー３２名）

活動範囲：国道３３号線 高岡郡佐川町丙字柳瀬屋敷

活動概要：平成１７年１１月、柳瀬部落は国土交通省と佐川町とで町内の道路管理について協定（「ふれあい海道」）を交わしました。

主な活動は、国道３３号線柳瀬地区にある植樹帯（花壇）の美化清掃作業を行うことです。

団体ＰＲ：柳瀬部落の有志によるボランティア活動です。メンバー全員の協力で花壇が常時きれいな状態を保てるように努力しています。花壇の場所を分担してそれぞれの担当者を決めていることもあり、植え付けのデザインなど個性が出て花壇の表情も豊かになっています。また、メンバー以外の方々からも「きれいね」とお声をいただき、新たな交流が生まれたり、道路の美化に努めることで少しでも地域社会に貢献できることはメンバーの喜びでもあります。

問合せ先：責任者 松岡直人 ２２－４７０１

4 策定委員会・作業部会・アドバイザー・事務局名簿

地域福祉活動計画策定委員会

No	地区	氏 名	所 属
1	佐川	片岡 正輝	佐川地区部落長会会長・佐川町部落長会会長
2	斗賀野	尾碕 藤吉郎	斗賀野地区部落長会会長・NPOイーハトーブ代表
3	尾川	横田 三夫	尾川地区部落長会会長・民生児童委員
4	黒岩	片岡 勝一	黒岩地区部落長会会長・保護司
5	加茂	平松 順	加茂地区部落長会会長（～H20.03.31）
		片岡 幸雄	加茂地区部落長会会長（H20.04.01～）
6	佐川	大原 淑道	企画本舗さかわ屋会長
7	斗賀野	森 正彦	NPOとかの元気村理事長
8	尾川	岡村 統正	尾川地区活性化協議会会長
9	黒岩	永田 滋	佐川町民生児童委員協議会黒岩地区長
10	加茂	岩本 正	夢の里つくり隊代表
11	佐川	矢野 定	佐川町老人クラブ連合会長
12	佐川	壬生 良輔	佐川町身体障害者協議会会長
13	佐川	藤田 千砂	佐川町手をつなぐ親の会長・民生児童委員
14	佐川	矢野 博子	佐川町食生活改善推進協議会会長・サロン協力員
15	斗賀野	西田 芳子	佐川町赤十字奉仕団委員長
16	斗賀野	西田 益子	JAにこにこ会会長・サロン協力員
17	佐川	横畠 和夫	佐川町消防団長
18	佐川	岡本 加代子	佐川町民生児童委員協議会会長・サロン協力員
19	佐川	岡本 文男	佐川町社会福祉協議会会長
20		戸梶 正人	健康福祉課長

地域福祉活動計画作業部会

No	地区	氏 名	所 属
1	佐川	刈谷 要介	民生児童委員・商工会理事
2	佐川	堀見 昇出	民生児童委員・商工会理事
3	佐川	田村 幸生	農業
4	斗賀野	渡辺 忠直	民生委員・とかの元気村会員
5	斗賀野	吉永 永	さくら福祉事業所・社協理事
6	斗賀野	田村 裕子	とかの元気村理事・図書館運営委員
7	尾川	沢村 一己	消防団尾川分団長・尾川地区活性化協議会役員
8	尾川	田村 貴美子	民生委員、尾川婦人防火クラブ委員長、尾川地区活性化協議会役員
9	尾川	西森 寿	JA職員、消防団、尾川中央保育園保護者会会長
10	黒岩	川崎 まり	黒岩親の会事務局
11	黒岩	和田 昌幸	農業
12	黒岩	山口 ちづ	民生児童委員
13	加茂	山脇 弘之	チーム鼓動世話人
14	加茂	山田 真一	農業
15	加茂	下川 泰彦	農業
16		広田 郁雄	産業建設課産業振興係長兼協働まちづくり係長（～H20.03.31）
		橋掛 直馬	産業建設課産業高度化技術開発室長兼産業振興係長（H20.04.01～）
17		横畠 由起	健康福祉課生活応援係保健師
18		高木 京子	健康福祉課地域包括支援センター社会福祉士
19		武政 尚子	斗賀野中央保育園園長
20		岡崎 明子	永野保育所主任保育士
21	佐川	近藤 真	細木病院ソーシャルワーカー

アドバイザー

No	氏 名	所 属
1	田中 きよむ	高知女子大学教授
2	吉森 伸郎	高知県地域支援企画員 元気応援団 (～H20. 03. 31)
	刈谷 嘉秀	高知県地域支援企画員 元気応援団 (H20. 04. 01～)
3	長野 孝弘	県社協民生地域課長
	小川 英治	県社協民生地域課課長代理
	魚谷 美和子	県社協民生地域課チーフ
4	坂本 喜代子	中央西福祉保健所地域支援室長 (～H20. 03. 31)
	中島 信恵	中央西福祉保健所地域支援室長 (H20. 04. 01～)
	吉森 伸郎	中央西福祉保健所地域支援室チーフ (H20. 04. 01～)
	片岡 千香	中央西福祉保健所地域支援室チーフ

事務局（健康福祉課・佐川町社協）

No	氏 名	所 属
1	山中 秀男	健康福祉課課長補佐
2	森 仁	健康福祉課介護ほけん係
3	山岡 幸二郎	社協事務局長
4	土居 妃佐	社協地域福祉コーディネーター
5	田村 佳久	社協福祉活動専門員

